

# 愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2024年度	開講期(Semester)	前期
授業科目名(Course name)	心理学概論		
担当者(Instructors)	吉村 道孝	配当年次(Dividend year)	1
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	選択必修

## ■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

心理学が対象とする「ところ」とは何か。どこにあるのか。本講義では学問としての心理学を学ぶ。心理学の基礎的知識を学ぶことにより、論理的・多角的なモノの見方・多様な考え方を習得することを目的とする。心理学は多くの領域から構成されており、各領域の代表的な知識や研究を紹介し、時には代表的な実験等を実際におこないながら解説する。

## ■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	講義
授業の方法(Class method)	心理学史の中で開発された実験映像や資料や事例をもちいて、より理解しやすいようにおこなう。

## ■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	科学としての心理学	心理学が対象とする現象を科学的に捉えながら、どのような研究がおこなわれているかを学習する。	<input type="checkbox"/>
第2回	心理学の歴史	心理学の研究成果の歴史的变化を概観しながら、心理学史を学習する。	<input type="checkbox"/>
第3回	知覚と注意	主に視覚と聴覚を取り上げ、その役割と情報処理について学習する。	<input type="checkbox"/>
第4回	学習と記憶	学習のメカニズムと技量や知識を獲得するメカニズムを学習する。	<input type="checkbox"/>
第5回	感情と動機づけ	感情を惹起する状況や反応と動機づけのメカニズムについて学習する。	<input type="checkbox"/>
第6回	心の生物学的基盤	脳の構造と神経細胞の仕組みについて学習する。	<input type="checkbox"/>
第7回	認知と認知機能の障害	感覚器官から入力された情報がどのように処理されるのかを学習する。	<input type="checkbox"/>
第8回	パーソナリティの理論と測定	パーソナリティの分類と理論について学習する。	<input type="checkbox"/>
第9回	発達と発達障害	主に子供の発達を取り上げ、発達理論と発達障害について学習する。	<input type="checkbox"/>
第10回	言語と思考	日常生活の中での言語と思考の役割について学習する。	<input type="checkbox"/>
第11回	心の健康と適応	ストレスとストレスに対する反応や対処方法について学習する。	<input type="checkbox"/>
第12回	心の病態	精神病理学や精神障害について学習する。	<input type="checkbox"/>
第13回	自己と他者	社会的自己や対人関係やコミュニケーションについて学習する。	<input type="checkbox"/>
第14回	社会と文化	家族・職場・学校・部活などの集団の中での行動について学習する。	<input type="checkbox"/>
第15回	心理学の応用	医療・福井・教育・司法・産業においてどのように心理学が応用されているのかを学習する。	<input type="checkbox"/>

## ■授業時間外学習(予習・復習)の内容(Preparation/review details)

事前学習：授業開始前に、授業で扱われるテーマに関わる理論・実験・出来事についてインターネット等で調べてくる。(2時間) 事後学習：講義を受けて振り返り、興味があったポイントをさらに深く学習する。不明な点は次回講義の小レポートに記載すること。(2時間)

## ■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

毎回講義後に小テストもしくは小レポートを実施し理解度を確認する。次回の講義の冒頭で疑問点や課題を共有する。

## ■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
知識・技能	◆ 2019人間健康DP1	心理学の歴史と各論を概観し、心理学とは何かを説明することができる。

■成績評価(Evaluation method)				
筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
			100%	
授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)				
毎回、講義後に小テストもしくは小レポートを実施し、理解度を確認する。				

■テキスト(Textbooks)		
No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	授業内容に応じて資料を配付する。	
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)		
No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	ヒルガードの心理学	9784772414388
2		
3		
4		
5		